



2BかそれともHBか、無雑作に
ひよろ／＼とひいたのが、いかにも
コスモスの莖らしい。花辨に就ては
紙の色と質を選ぶのにちよつと時間
をかけたが、それがきまつたとな
るど、切るのも早し貼るのも早し、べ
た／＼と之れも無雑作極まるところ
が、秋もやゝ更けて、雨にも打たれ
風に吹かれ、かそけくも蕭條たる此
の花の亂れ姿をよく出してゐる。折
から遠くで飛行機の音が聞える。聞
き耳早い此の子はつと立つて庭へ馳
けて行つた。此の名作をほつぽり出
して置いたまゝ、ふりかへつて見よ
うともしない。どこまでも無雑作で
ある。空は透き澄るやうに碧い。

(倉橋生)